

科目名	卒業研究演習〔日本理解専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Japan Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	羽田 利久		教員コード	155	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	金曜日・2時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	卒業論文の作成が最終的な目的ではあるが、それに至る過程が重要と考えて授業を行う。						
授業の狙い・到達目標	自らで課題を設定し、その設定した課題について論理的な思考の展開を進めながら、卒業論文としてまとめることを目標とする。						
授業内容のレベル・関連科目	人間文化演習(人間文化分野)						
授業外学習(予習・復習)	論文執筆はスケジュール管理も大切です。自分で計画を立てて遂行すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	特に指示しないが、論文執筆に関する書籍を使用する						
参考書・その他教材	学生の執筆テーマに沿って適宜指導を行う						
課題に対するフィードバック	その都度確認をおこない、学生が正しく理解し、執筆を進めることを目指す						
成績評価方法	卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、大学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	卒業論文は大学で学んだことの集大成であることを意識し、自ら主体的に学ぶ姿勢をとることを必須とする。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	授業前後での質問、ならびにメールでも受け付ける。メールアドレス hada@aikoku-u.org						

授業スケジュール

卒業研究演習〔日本理解専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	ガイダンス、卒業論文執筆のためのスケジュールについて説明を行う シラバスをよく読み、執筆にあたっての流れをつかんでおくこと 授業を踏まえて、自分の執筆テーマの再確認と、論文執筆についてのスケジュールを検討する
2回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマの検討1 執筆テーマについての先行研究を読み、まとめること 授業での質問を受けて、先行研究について検討を行うこと
3回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマの検討2 執筆テーマについての先行研究を読み、まとめること 授業での質問を受けて、先行研究について検討を行うこと
4回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマの検討3 執筆テーマについての先行研究を読み、まとめること 授業での質問を受けて、先行研究について検討を行うこと
5回	学習内容 予習 復習	論文の全体の構成についての検討 執筆テーマが決まったら、その論文で明らかにしたいことを明確にする 授業での討議を踏まえて、構成について検討すること
6回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマに沿った先行研究の確認1 執筆テーマについて関連した分野の先行研究を読み、まとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
7回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマに沿った先行研究の確認2 執筆テーマについて関連した分野の先行研究を読み、まとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
8回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマに沿った先行研究の確認3 執筆テーマについて関連した分野の先行研究を読み、まとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
9回	学習内容 予習 復習	中間報告1・執筆テーマと先行研究について 執筆テーマとその先行研究について報告を行うことができるようまとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
10回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマに沿った理論の検討1 執筆テーマについて関連した分野の書籍を読み、まとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
11回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマに沿った理論の検討2 執筆テーマについて関連した分野の書籍を読み、まとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
12回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマに沿った理論の検討3 執筆テーマについて関連した分野の書籍を読み、まとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと
13回	学習内容 予習 復習	論文執筆テーマの再確認・目的、問いの設定 これまでに読んだ書籍からの知識を踏まえて、論文執筆テーマについて再確認をおこなう事 授業の内容を反映させて、テーマや構成について練り直すこと
14回	学習内容 予習 復習	中間報告2・論文の主題と構成について 論文の主題と構成について報告を行うことができるようまとめること 授業の内容を反映させて、テーマや構成について練り直すこと
15回	学習内容 予習 復習	中間報告のまとめ・夏休みの課題提示 執筆のテーマとその先行研究について報告を行うことができるようまとめること 授業での質問を受けて、自分の研究テーマについて検討を行うこと

授業スケジュール

卒業研究演習〔日本理解専攻〕

16回	<p>学習内容 夏季休暇時の課題報告</p> <p>予習 与えられた課題について報告できるように準備し、練習をしておくこと</p> <p>復習 授業で討議した内容について自ら検証を行うこと</p>
17回	<p>学習内容 論本文の執筆・収集した情報の整理と分析1</p> <p>予習 研究の中心部分となる情報について整理と分析を行い、執筆を進める</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
18回	<p>学習内容 論本文の執筆・収集した情報の整理と分析2</p> <p>予習 研究の中心部分となる情報について整理と分析を行い、執筆を進める</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
19回	<p>学習内容 論本文の執筆・収集した情報の整理と分析3</p> <p>予習 研究の中心部分となる情報について整理と分析を行い、執筆を進める</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
20回	<p>学習内容 論本文の執筆・事例研究1</p> <p>予習 収集、整理した情報を元に、事例についての執筆を進める</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
21回	<p>学習内容 論本文の執筆・事例研究2</p> <p>予習 収集、整理した情報を元に、事例についての執筆を進める</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
22回	<p>学習内容 論本文の執筆・事例研究3</p> <p>予習 収集、整理した情報を元に、事例についての執筆を進める</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
23回	<p>学習内容 論本文の執筆・考察1</p> <p>予習 これまでの研究を元に分析を行い、論文の考察を執筆する</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
24回	<p>学習内容 論本文の執筆・考察2</p> <p>予習 これまでの研究を元に分析を行い、論文の考察を執筆する</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
25回	<p>学習内容 論本文の執筆・まとめ1</p> <p>予習 これまでに執筆した論文を読み返し、全体のまとめを執筆する</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
26回	<p>学習内容 論本文の執筆・まとめ2</p> <p>予習 これまでに執筆した論文を読み返し、全体のまとめを執筆する</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
27回	<p>学習内容 論本文の執筆・全体の修正</p> <p>予習 これまでに執筆した論文を読み返し、全体の修正を行う</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、執筆内容について検討を行うこと</p>
28回	<p>学習内容 卒論発表会の準備1</p> <p>予習 論文の内容について説明を行うことができるように、発表内容の検討を行う</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、発表内容を検討する</p>
29回	<p>学習内容 卒論発表会の準備2</p> <p>予習 論文の内容についてスライドを作成する</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、発表内容を検討する</p>
30回	<p>学習内容 卒論発表会の準備3</p> <p>予習 論文の内容についてスライドを作成し、発表の練習を行う</p> <p>復習 授業でのアドバイスや質問を元にして、発表内容を検討する</p>

科目名	卒業研究演習〔日本理解専攻〕			科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	梶原 健嗣		教員コード	145	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	木曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/> 1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/> 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	<input type="radio"/> 3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/> 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	<input type="radio"/> 5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input checked="" type="radio"/> 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う
授業概要	前年度の人間文化演習を一步進めた学習により、卒業論文作成のための指導を行う。演習形式のため、学生の学習状況にあわせた進度の調整を行う場合がある。					
授業の狙い・到達目標	卒業論文は大学生活の集大成である。自分が関心をもったテーマに対し、問題の所在、重要性を示し、事実即して自己の見解を論理的に主張・展開することができるようになる。教員の指導の下に、二人三脚でこの目標に到達することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	授業のレベルは、「大学生活の集大成」である。関連科目は特に明示しないが、これまでに本学履修したすべての科目が、「課題の発見・探求」に役だったはずである。					
授業外学習(予習・復習)	卒業論文の完成に向けて、丁寧に毎回の演習を積み重ねる。パズルのピースを埋め合わせていくように、1つずつ課題を提示していくので、それを着実にこなすこと。また、教員の指導を受けた修正をきちんと積み重ねていくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特になし					
参考書・その他教材	特になし。講義のなかで指示する課題をこなすための参考書・資料を自ら発見することが、ゼミ学習の基本である。					
課題に対するフィードバック	卒業研究演習では、卒業論文の作成に向けて1年計画で課題を出していく。毎回の授業は、そのフォローアップである。					
成績評価方法	卒論発表会30% 平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)					
成績評価基準	授業の狙いあげた学習到達目標にどのくらい到達したかを、本学の「学業成績判定に関する規程の基準」に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	復習をきちんとすること。特に、教員が演習中に指示した課題をしっかりこなすこと。そうすれば、おのずと卒業論文はできあがるはずである。					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(kajiwara@aikoku-u.org)、またはオフィスアワー(新年度に掲示)。もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。					

授業スケジュール

卒業研究演習〔日本理解専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、本演習および卒業論文作成までのスケジュールを説明する。 シラバスをよく読み、本演習のスケジュールを把握しておくこと。 講義を踏まえて、シラバスを改めて読み返し、本演習のスケジュールを頭に叩き込む。
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 予習 復習	テーマを決めるための基礎作業 卒論の充実度を決めるのは、何よりもテーマの的確性/妥当性である。 そのために、3年次に引き続き、複数の課題発表を続ける。 教員が前回講義時に指定した課題で調べものをし、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること) 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。
5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 回	学習内容 予習 復習	テーマを決め、基本事項を調査する。 なるべく卒論のテーマを決め、課題に取りかかることが内容の充実した卒論に仕上げる最大の「コツ」である。テーマ設定と並行(試行錯誤)になるが、基礎的な事実を調査することで、最も自分にあった卒論テーマを見つけてほしい。 研究の「問い」を作りこんでいくために、プレゼン形式の基礎調査を続ける。 この時、プレゼンテーマそのものから、自分で設定する。 (指定日までに、課題をメールで送ること) 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 回	学習内容 予習 復習	テーマを決める【完成編】 遅くとも、この時期にはテーマを決定していく。 文章化すれば、論文の序章となる程度の内容でプレゼンを仕上げる。 1度報告済みのテーマのプレゼンを、時間・内容面でバージョンアップさせる。 過去の発表・報告を振り返ることで、卒業論文のテーマを絞り込んでいく。内容上、発展が期待できるものを発見していく。ここでも、指定日までに課題をメールで送ること。 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。
13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 予習 復習	論文の構成と序章を考え、書く。 前期までに1,500字を超えることが目標。 教員の指示の下、卒論の構成と序章を考え、書く。 添削を受け、論文をブラッシュアップしていく。やはり、指定日までに課題をメールで送ること 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 夏季休暇中に、論文内容を3,000字程度まで書き上げる。

科目名	卒業研究演習〔心理・生活専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Life and Psychology)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	中村 博子		教員コード	162	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・4時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	心理学研究、論文作成方法、心理学研究で行われる調査方法についての知識を学び、卒業研究の作成に活かすよう指導する。心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として個別に指導を行う。						
授業の狙い・到達目標	これまでの学修の仕上げとして、卒業研究および卒業論文を実施、作成・発表できるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	卒業研究は大学における学修の集大成としての位置づけとなる。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目についてはなるべく履修済みであること、あるいは少なくとも合わせての履修を行うことが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	必要に応じて文献などを自分で調べ、また収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるよう準備してから臨むこと。授業中に議論した内容については自分なりにまとめ、適宜卒業論文に反映させること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書・その他教材	杉本敏夫(著)『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社 都築学(著)『心理学論文の書き方ーおいしい論文のレシピ』有斐閣アルマ						
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をこなしているかどうか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。						
科目に関連した教員の業務経験	地方公務員として児童相談所の勤務(経験)。所属長としての管理職経験。カウンセラーとしての臨床勤務(経験)。						
担当教員への連絡方法	授業前後での質問、メールでの質問(hnakamura@aikoku-u.org)を受け付ける。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

授業スケジュール

卒業研究演習〔心理・生活専攻〕

1 回	学習内容 ・ 予習 ・ 復習	イントロダクションー心理学の卒業論文を書くために シラバスを読み、授業の概要等について確認しておくこと 授業の目的や内容について自分なりに整理し、その後の学習の心構えを作っておくこと
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 ・ 予習 ・ 復習	テーマの選定ー各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う。 関心のある日常的な心理学的現象や研究テーマについて発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、自身の研究テーマについて考えをまとめること
5 ・ 6 ・ 7 回	学習内容 ・ 予習 ・ 復習	先行研究の調査ー選定したテーマに関連する文献の調査を行う。 自身の研究テーマに関連した論文を読み、内容について報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、引き続き文献の調査を行うこと
8 ・ 9 回	学習内容 ・ 予習 ・ 復習	問題設定ー具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする。 自身の研究における問題や仮説、研究目的について発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、問題や仮説、目的について整理しておくこと
10 ・ 11 回	学習内容 ・ 予習 ・ 復習	実験計画の選定ー実験や調査などの研究方法を確定する。 自身の研究における実験計画を立て、発表する準備をしておくこと 立てた実験計画に基づいて、実験や調査の準備をしておくこと
12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 ・ 予習 ・ 復習	データ収集ー実験や調査などを行い、データを収集する。 実験や調査の準備状況や実施状況について報告を行えるようにしておくこと 引き続き実験や調査の準備あるいは実施を進めること

授業スケジュール

卒業研究演習〔心理・生活専攻〕

<p>16 ・ 17 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>中間発表－これまでの成果を発表し、研究内容や進め方について議論する。 ここまでの進捗状況や得られた結果などについて発表する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらに自身の研究を進めていくこと</p>
<p>18 ・ 19 ・ 20 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>データ収集・分析－引き続きデータを収集し、データを分析・検討する。 実験や調査によって得られたデータをまとめ、報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらにデータ収集や分析を進めること</p>
<p>21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>論文の執筆－論文の執筆を行う。論文の構成や書き方などについては随時助言、指導する。 実際に論文を書き始める、もしくは書き始めるための準備をしておくこと 構成や書き方などについての助言をふまえて、引き続き論文の執筆を進めること</p>
<p>27 ・ 28 ・ 29 ・ 30 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>仕上げ、提出、発表－提出する論文を仕上げ、十分な校正を行い、最終発表の準備をする。 論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること 引き続き論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること</p>

科目名	卒業研究演習〔心理・生活専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Life and Psychology)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	原島 雅之		教員コード	142		単位数	2単位
開講期間	通年		曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として個別に指導を行う。研究は、文献研究だけでなく、実証データに基づくものも含まれ、そのための方法や技術的な指導も随時行っていく。						
授業の狙い・到達目標	これまでの学修の仕上げとして、卒業研究および卒業論文を実施、作成・発表できるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	卒業研究は大学における学修の集大成としての位置づけとなる。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目についてはなるべく履修済みであること、あるいは少なくとも合わせての履修を行うことが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	必要に応じて文献などを自分で調べ、また収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるよう準備をしてから臨むこと。授業中に議論した内容については自分なりにまとめ、適宜卒業論文に反映させること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書・その他教材	杉本敏夫(著)『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社 都築学(著)『心理学論文の書き方ーおいしい論文のレシピ』有斐閣アルマ						
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	harashima@aikoku-u.org						

授業スケジュール

卒業研究演習〔心理・生活専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー心理学の卒業論文を書くために シラバスを読み、授業の概要等について確認しておくこと 授業の目的や内容について自分なりに整理し、その後の学習の心構えを作っておくこと
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 予習 復習	テーマの選定ー各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う。 関心のある日常的な心理学的現象や研究テーマについて発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、自身の研究テーマについて考えをまとめること
5 ・ 6 ・ 7 回	学習内容 予習 復習	先行研究の調査ー選定したテーマに関連する文献の調査を行う。 自身の研究テーマに関連した論文を読み、内容について報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、引き続き文献の調査を行うこと
8 ・ 9 回	学習内容 予習 復習	問題設定ー具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする。 自身の研究における問題や仮説、研究目的について発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、問題や仮説、目的について整理しておくこと
10 ・ 11 回	学習内容 予習 復習	実験計画の選定ー実験や調査などの研究方法を確定する。 自身の研究における実験計画を立て、発表する準備をしておくこと 立てた実験計画に基づいて、実験や調査の準備をしておくこと
12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 予習 復習	データ収集ー実験や調査などを行い、データを収集する。 実験や調査の準備状況や実施状況について報告を行えるようにしておくこと 引き続き実験や調査の準備あるいは実施を進めること

授業スケジュール

卒業研究演習〔心理・生活専攻〕

<p>16 ・ 17 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>中間発表－これまでの成果を発表し、研究内容や進め方について議論する。 ここまでの進捗状況や得られた結果などについて発表する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらに自身の研究を進めていくこと</p>
<p>18 ・ 19 ・ 20 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>データ収集・分析－引き続きデータを収集し、データを分析・検討する。 実験や調査によって得られたでデータをまとめ、報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらにデータ収集や分析を進めること</p>
<p>21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>論文の執筆－論文の執筆を行う。論文の構成や書き方などについては随時助言、指導する。 実際に論文を書き始める、もしくは書き始めるための準備をしておくこと 構成や書き方などについての助言をふまえて、引き続き論文の執筆を進めること</p>
<p>27 ・ 28 ・ 29 ・ 30 回</p>	<p>学習内容 ・ 予習 復習</p>	<p>仕上げ、提出、発表－提出する論文を仕上げ、十分な校正を行い、最終発表の準備をする。 論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること 引き続き論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること</p>

科目名	卒業研究演習〔心理・生活専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Life and Psychology)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	佐久間 直人		教員コード	148		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として、研究と論文執筆について個別に指導を行う。研究は、文献研究だけでなく、実証データに基づくものも含まれる。そのための方法や技術的な指導も随時行っている。						
授業の狙い・到達目標	これまでの学修の仕上げとして、卒業研究の実施および卒業論文の作成、発表を目指す。大学卒業に相応しい企画力(問題の設定・解決能力)・情報収集力・論理的思考力・データ処理能力・表現力などを身につけることができる。						
授業内容のレベル・関連科目	心理学系の科目を履修しておくことが望ましい。特に、心理学概論、心理学研究法、心理学実験実習を履修しておくことよい。						
授業外学習(予習・復習)	必要に応じて論文などを自分で調べ、収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるように準備してから授業に臨むこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	特に指定しない。						
参考書・その他教材	木下是雄『理科系の作文技術』中公新書 大山正・岩脇三良・宮埜壽夫『心理学研究法 データ収集・分析から論文作成まで』サイエンス社						
課題に対するフィードバック	演習形式であるため、当然、進捗状況・成果すべてに対して授業内で評価・指導をしていく。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	到達目標に対して学習がどのくらい進んだかについて、本学の学業成績判定に関する規程の基準に従って評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	話を聞いていればよいという授業ではなく、自分で研究を進めていかなければならないことを自覚すること。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	初回に、教員と学生が必ずお互いに連絡を取り合える方法を確保する。						

授業スケジュール

卒業研究演習〔心理・生活専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション:心理学分野で卒業論文を書くということについて 3年次までの復習をしておく。 授業内容を振り返り、研究ノートを準備する。
2回	学習内容 予習 復習	テーマの選定①:各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 心理学のトピック一覧を見直しておく。 授業で紹介された「研究領域」レベルにはテーマを絞る。
3回	学習内容 予習 復習	テーマの選定②:各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 心理学の研究手法一覧を見直しておく。 研究対象にする現象等をおおよそ絞る。
4回	学習内容 予習 復習	テーマの選定②:各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 「興味のある研究手法」も視野に入れて研究テーマを絞っておく。 研究対象の選定を受け、関係する授業内容等をまとめておく。
5回	学習内容 予習 復習	先行研究の調査① 文献収集と読んだ文献のまとめ方 選定した研究対象に関する文献の題目と要約文を集めておく。 授業で議論した内容から、自身が参考にしたい引用文献を選ぶ。
6回	学習内容 予習 復習	先行研究の調査② 先行研究の選定 授業で議論した内容から、自身が参考にしたい引用文献を選ぶ。 選んだ文献を読み込む。
7回	学習内容 予習 復習	先行研究の調査③ 先行研究の報告 選んだ文献の内容を報告するレジュメを作成しておく。 先行研究を受けて、自分自身が明らかにしたいことを整理しておく。
8回	学習内容 予習 復習	問題設定① 具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする 先行研究を受けて、自分自身が明らかにしたいことを整理しておく。 自身の設定した問題・目的を具体化するアイデアを用意しておく。
9回	学習内容 予習 復習	問題設定② 仮説の構築と変数の設定 自身の設定した問題・目的を具体化するアイデアを用意しておく。 これまでの研究ノートをしっかりとまとめておく。
10回 ・ 11回	学習内容 予習 復習	実験計画・調査計画の確定 データの収集方法をおさらいしておく。 データの収集方法、スケジュール等を教員と確認し、実施準備を進める。
12回 ・ 13回 ・ 14回 ・ 15回	学習内容 予習 復習	データ収集:実際に実験・調査・文献の収集などを行う しっかりと準備し、教員と一緒に確認すること。 必ずすぐに研究ノートやデータファイルにまとめておくこと。

授業スケジュール

卒業研究演習〔心理・生活専攻〕

16 回	学習内容 予習 復習	中間発表:これまでの成果をまとめ、発表し、今後の進め方を議論する 中間発表の準備をしておくこと。 中間発表に関する議論を受けて、これまでのまとめと今後について研究ノートにまとめる。
17 ・ 18 ・ 19 回	学習内容 予習 復習	データ収集・分析:引き続きデータ収集し、分析・検討する しっかりと準備し、教員と一緒に確認すること。 必ずすぐに研究ノートやデータファイルにまとめておくこと。
20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成 卒業論文の作成を進め、その内容を教員に伝えられるようにしておく。 指導内容を反映させて、卒業論文の作成を進める。
26 ・ 27 回	学習内容 予習 復習	仕上げと提出:まとめ、校正、提出を行う 卒業論文をよく読み直しておく。 卒業論文を提出できる状態に仕上げ、確認し、提出する。
28 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備① 要旨、発表資料の作成 要旨、発表資料をある程度作成しておく。 発表資料の準備、発表練習を行う。
29 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備② 発表練習 発表資料の準備・整理、発表練習をしておく。 発表資料の確認、発表練習を行う。
30 回	学習内容 予習 復習	最終チェックと修正等 卒業論文をよく読み直しておく。 研究ノート、データ、文献等、研究に使用したものを整理する。

科目名	卒業研究演習〔地域共生専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Regional Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	岡庭 義行		教員コード	159	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	木曜日・4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	環境福祉分野における自己の関心テーマに基づいた卒業論文の作成と指導を目的とする。演習は「課題の設定」「資料の収集」「整理と分析」「卒業論文の作成」「口頭発表」から構成され、各領域において履修生と教員が対話をを行いながら、指導と作業を進めていくことをその目的とする。						
授業の狙い・到達目標	[到達目標①] 卒業論文の課題を自らの関心領域に従って設定し、的確に説明することができる。 [到達目標②] 適切な表現と構成により、論理的な卒業論文を作成することができる。 [到達目標③] 自身の卒業論文について、口頭発表等により分かりやすく説明することができる。						
授業内容のレベル・関連科目	卒業論文を作成するのに必要な論理的思考、表現力、構成力を求められるため、関連する講義や演習を積極的に履修し、幅広い視野と思考力を積極的に養うことが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	〔事前学習〕自己の関心テーマに基づいた資料や情報の収集と課題領域の課題考察を深める。〔事後学習〕演習後に取り組みべき課題を振り返り、新たな問題の探求を心がける。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	各テーマに基づき演習中に関係資料を明示するとともに、参考文献の一覧を配布する。						
課題に対するフィードバック	提出課題はすべてコメントを記して返却し、適宜、関連資料を付して解説する。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	自己を高める意識と努力をもって、自身の学修成果と関心領域を積極的に結びつけること。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(okaniwa@aikoku-u.org)、またはオフィスアワー(新年度に掲示)。もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。						

授業スケジュール

卒業研究演習〔地域共生専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 達成目標の解説と卒業論文の意義 シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し、卒業論文の目標と展望を深める。
2回	学習内容 予習 復習	課題設定① 自己への問いかけと省察 各自の関心領域に学問的な整合性を持たせた卒業論文課題を設定する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
3回	学習内容 予習 復習	課題設定② 先行研究の参照 各自の関心領域に学問的な整合性を持たせた卒業論文課題を設定する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
4回	学習内容 予習 復習	課題設定③ 課題の仮設定 各自の関心領域に学問的な整合性を持たせた卒業論文課題を設定する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
5回	学習内容 予習 復習	資料の収集① 図書館のリファレンス利用 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
6回	学習内容 予習 復習	資料の収集② ネット検索の技法とリテラシー 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
7回	学習内容 予習 復習	資料の収集③ 統計資料の収集方法 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
8回	学習内容 予習 復習	資料の収集④ 社会調査(量的調査) 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
9回	学習内容 予習 復習	資料の収集⑤ 社会調査(質的調査・アクションリサーチ) 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
10回	学習内容 予習 復習	整理と分析① ラベリングとコーディング 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
11回	学習内容 予習 復習	整理と分析② 資料の解析と解釈 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
12回	学習内容 予習 復習	整理と分析③ 因果関係と相関関係 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
13回	学習内容 予習 復習	整理と分析④ 資料の保存と保管 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
14回	学習内容 予習 復習	整理と分析⑤ 人権と倫理 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
15回	学習内容 予習 復習	前期のまとめ・総括 -資料の論理性と客観性- 前期までの成果を総括して、後期までに取り組みべき課題を確認する。 演習内容を各自の学問的関心に接続させ、今後の学びを進展させていく。

授業スケジュール

卒業研究演習〔地域共生専攻〕

16回	<p>学習内容 イントロダクション -達成目標の再確認と調整-</p> <p>予習 シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。</p> <p>復習 演習の目的や内容について確認し、以降の講義の目標と展望を深める。</p>
17回	<p>学習内容 卒業論文の作成① - 仮題と目次 -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
18回	<p>学習内容 卒業論文の作成② - 問題の所在1(1)-</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
19回	<p>学習内容 卒業論文の作成③ - 問題の所在(2) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
20回	<p>学習内容 卒業論文の作成④ - 研究史(1) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
21回	<p>学習内容 卒業論文の作成⑤ - 研究史(2) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
22回	<p>学習内容 卒業論文の作成⑥ - 事例の記述(1) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
23回	<p>学習内容 卒業論文の作成⑥ - 事例の記述(2) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
24回	<p>学習内容 卒業論文の作成⑦ - 事例の記述(3) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
25回	<p>学習内容 卒業論文の作成⑧ - 考察と展望(1) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
26回	<p>学習内容 卒業論文の作成⑧ - 考察と展望(2) -</p> <p>予習 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
27回	<p>学習内容 口頭発表① 意義と準備</p> <p>予習 卒業論文の目的と内容を資料にまとめ、ICTを活用した口頭発表の準備作業を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
28回	<p>学習内容 口頭発表② 資料作成とコミュニケーション・スキル</p> <p>予習 卒業論文の目的と内容を資料にまとめ、ICTを活用した口頭発表の準備作業を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
29回	<p>学習内容 口頭発表③ ICTを活用した実践</p> <p>予習 卒業論文の目的と内容を資料にまとめ、ICTを活用した口頭発表の準備作業を行う。</p> <p>復習 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。</p>
30回	<p>学習内容 まとめ・総括 -新しい知の地平を求めて-</p> <p>予習 これまでの演習を振り返り、可能な限り近接する課題や日常の問題意識に結びつけること。</p> <p>復習 学習内容を各自の学問的関心に接続させ、今後の学びを発展させていく。</p>

科目名	卒業研究演習〔地域共生専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Regional Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	栗林 慶		教員コード	158	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	水曜日・2時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探究する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	卒業論文の執筆に関する指導を行う。前期は論文執筆に必要な学術的スキルの確認をしながら、研究の具体化に向けた指導をする。後期は執筆指導と研究発表に向けた準備を行う。						
授業の狙い・到達目標	① 学術的な問いを立て、その問いに対し理論的もしくは実証的に検証することができる。 ② 卒業研究を論文としてまとめ、学術成果として発表することができる。						
授業内容のレベル・関連科目	これまで履修した共通教養科目や専攻科目での学修を土台として、興味関心のあるテーマや専門知識のあるテーマを用意・設定できる状態で演習にのぞむ必要がある。						
授業外学習(予習・復習)	教員の助言・指導に従って授業外学習をすること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	各自の進行に応じて案内する。						
課題に対するフィードバック	随時、口頭やメールなどにより、修正点などのフィードバックを行う。						
成績評価方法	平常点(70%) 卒業論文発表会(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	履修者に次のようなことがあった場合には、指導は継続できない。 ① 度重なる無断欠席・遅刻 ② 教員からの連絡に対して、長期にわたって応答しない場合 ③ 研究活動に全く意欲がみられない場合 ④ ディスカッション等に対して完全に不参加が続く場合						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問、連絡等はメール(kei@aikoku-u.org)にて受け付ける。 教員は必ず返信をするので、もし返信がない場合は各自、連絡方法を再確認すること。						

授業スケジュール

卒業研究演習〔地域共生専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 卒業研究に使用する機材とソフト、教員との連絡方法、研究の進め方の確認 研究に必要なソフトウェア(ワープロ、表計算、プレゼンテーション、PDFの閲覧)を確認しておく。 不足するパソコンスキルやソフトウェアを確認し、対処が難しければ教員に相談をする。
2回	学習内容 予習 復習	研究テーマの選び方、資料収集の案内、執筆演習 どのような研究テーマを扱いたいのか、案を考える。参考になりそうな資料を用意する。 演習で執筆したものに指導内容を反映させ、提出する。研究テーマを再考し、資料を収集する。
3回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
4回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
5回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
6回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
7回	学習内容 予習 復習	卒業論文の構想、資料収集、執筆演習 これまでのディスカッションと資料収集をふまえて、卒業論文の構想を考える。 演習で執筆したものを修正し、提出する。卒業論文の構想については、指摘箇所を修正する。
8回	学習内容 予習 復習	卒業論文の構想、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
9回	学習内容 予習 復習	卒業論文の構想、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
10回	学習内容 予習 復習	研究計画の再スケジュール、卒業論文の執筆指導 卒論に必要な資料収集やデータ収集を考慮したスケジュールを考えておく。 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。
11回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。 前回と同様に復習をする。
12回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導。 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
13回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導。 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
14回	学習内容 予習 復習	中間報告 これまでの研究成果の口頭発表 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。口頭発表の準備をする。 前回と同様に復習をする。
15回	学習内容 予習 復習	夏期休業中の研究計画の確認 夏期休業中の研究計画を具体的に想定する。 前回と同様に復習をする。

授業スケジュール

卒業研究演習〔地域共生専攻〕

16回	<p>学習内容 夏期休業中の進捗報告</p> <p>予習 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。夏期休業中の研究の進捗報告の準備をする。</p> <p>復習 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。</p>
17回	<p>学習内容 卒業論文の執筆指導</p> <p>予習 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。</p> <p>復習 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。</p>
18回	<p>学習内容 卒業論文の執筆指導。</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
19回	<p>学習内容 卒業論文の執筆指導。</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
20回	<p>学習内容 卒業論文の執筆指導。</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
21回	<p>学習内容 卒業論文の執筆指導。</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
22回	<p>学習内容 卒業論文の体裁調整</p> <p>予習 卒業論文の執筆要綱を再確認し、本文の不備を再点検しておく。</p> <p>復習 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。</p>
23回	<p>学習内容 卒業論文の体裁調整。</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
24回	<p>学習内容 卒業論文の体裁調整、最終稿の作成</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
25回	<p>学習内容 卒業論文の体裁調整、最終稿の作成。</p> <p>予習 前回と同様に予習をする。</p> <p>復習 前回と同様に復習をする。</p>
26回	<p>学習内容 卒論発表会の準備(その1) スライドの構成を考える</p> <p>予習 卒論発表会で用いるスライドの構成を考える。</p> <p>復習 添削の内容を反映させる。</p>
27回	<p>学習内容 卒論発表会の準備(その2) スライドの添削</p> <p>予習 卒論発表会で用いるスライドを、おおむね作成する。</p> <p>復習 添削の内容を反映させる。冬季休業中の作業内容を確認する。</p>
28回	<p>学習内容 卒論発表会の準備(その3) スライドの最終添削</p> <p>予習 卒論発表会で用いるスライドを完成させる。</p> <p>復習 最終添削の内容を反映させる。</p>
29回	<p>学習内容 卒論発表会の準備(その4) 発表の予行練習</p> <p>予習 効果的なプレゼンテーション技法について検討する。</p> <p>復習 授業で指摘された箇所を修正する。</p>
30回	<p>学習内容 卒論発表会の準備(その5) 発表の予行練習</p> <p>予習 プレゼンテーションの時間をあらかじめ計測する。</p> <p>復習 授業で指摘された箇所を修正する。</p>

科目名	卒業研究演習 [ビジネス専攻]			科目コード	31020/31021	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・4時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	研究論文を完成させること。 研究を要約した発表を行うこと。					
授業の狙い・到達目標	これまで学んだことを踏まえ、自分自身で考え、オリジナリティを有し、新しい視点などを持つ論文を作成することができる。 他者に自身の研究を理解してもらえるような発表ができるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	ビジネス専攻に関係する知識を得ていることが前提となる。 これまで履修した科目がすべてが関連する。					
授業外学習(予習・復習)	自分の研究であることを意識し、受け身にならず自ら調べ疑問を解決できるように心がけること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	特になし					
参考書・その他教材	研究内容によって個人ごとに通知する。					
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは個別に行う。					
成績評価方法	課題への取り組み(70%)、卒論発表会(30%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)のサイクルを心がけること。 各自の進度によって講義の内容が前後する場合がある。夏休み中も指導を行う。					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

授業スケジュール

卒業研究演習 [ビジネス専攻]

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(年間スケジュール、研究および論文作成について) どんな研究がしたいのか大まかに考えておくこと 興味のある分野について調べること
2回	学習内容 予習 復習	研究のテーマ探し 先行研究から既存にはないテーマはどんなものであるか検討しておくこと どのような先行文献に目を通したのか必ず記録しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	研究のテーマ探し 先行研究から既存にはないテーマはどんなものであるか検討しておくこと どのような先行文献に目を通したのか必ず記録しておくこと
4回	学習内容 予習 復習	研究のテーマ探し 自分に必要になりそうな文検等を調べ読んでおくこと どのような先行文献に目を通したのか必ず記録しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	研究のテーマ探し 自分に必要になりそうな文検等を調べ読んでおくこと 各自指導された点について研究をすすめること
6回	学習内容 予習 復習	研究のテーマ決定 自分に必要になりそうな文検等を調べ読んでおくこと 各自指導された点について研究をすすめること
7回	学習内容 予習 復習	研究をすすめる(テーマに必要な材料をそろえる) 研究をすすめる 各自指導された点について研究をすすめること
8回	学習内容 予習 復習	研究をすすめる(テーマに必要な材料をそろえる) 研究をすすめる 各自指導された点について研究をすすめること
9回	学習内容 予習 復習	研究をすすめる(テーマに必要な材料をそろえる) 研究をすすめる 各自指導された点について研究をすすめること
10回	学習内容 予習 復習	研究をすすめる(テーマに必要な材料をそろえる) 研究をすすめる 各自指導された点について研究をすすめること
11回	学習内容 予習 復習	研究をすすめる(論文の章構成を考える) わからないことや質問したいことがある場合、それを明確にしておくこと 各自指導された点について研究をすすめること
12回	学習内容 予習 復習	研究をすすめる(論文の章構成を考える) わからないことや質問したいことがある場合、それを明確にしておくこと 各自指導された点について研究をすすめること
13回	学習内容 予習 復習	発表準備 発表に際して疑問点や不安な点を相談しておくこと 発表の準備をすること
14回	学習内容 予習 復習	発表準備 発表に際して疑問点や不安な点を相談しておくこと 発表の準備をすること
15回	学習内容 予習 復習	中間発表(先行研究、研究の主題、方法) 中間発表の練習をしておくこと 修正やテーマの変更などがある場合早めに軌道修正できるように問題点をまとめること

授業スケジュール

卒業研究演習[ビジネス専攻]

16回	<p>学習内容 夏休み中の進捗報告(夏休み中に論文7割を目標に書き上げておくこと)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
17回	<p>学習内容 論文の書き方を指導(引用の方法、レポートとの書き方の違いについての確認)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
18回	<p>学習内容 論文を作成(都度、修正を行う)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
19回	<p>学習内容 論文を作成(都度、修正を行う)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
20回	<p>学習内容 論文を作成(都度、修正を行う)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
21回	<p>学習内容 論文を作成(都度、修正を行う)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
22回	<p>学習内容 論文を作成(都度、修正を行う)</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
23回	<p>学習内容 論文を作成を完了</p> <p>予習 論文を作成する</p> <p>復習 論文を作成する</p>
24回	<p>学習内容 発表スライドの作成</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 発表の準備をする</p>
25回	<p>学習内容 発表スライドの作成</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 発表の準備をする</p>
26回	<p>学習内容 発表スライドの作成</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 発表の準備をする</p>
27回	<p>学習内容 発表スライドの作成</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 発表の準備をする</p>
28回	<p>学習内容 発表の予演を行う</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 本番に向けての修正を行う</p>
29回	<p>学習内容 発表の予演を行う</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 本番に向けての修正を行う</p>
30回	<p>学習内容 発表の予演を行う</p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 本番に向けての修正を行う</p>

科目名	卒業研究演習[ビジネス専攻]				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・5時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	日常生活に関連したさまざまな問題や課題についてICT(情報通信技術)を利用した問題解決の手法を体系的に学び、卒業研究に展開する。						
授業の狙い・到達目標	学生の自由な発想と創造を尊重する。PBL(問題解決型学習)を応用して、課題の探求、解決手法についての理解、ICTの適用と手法の創造、システムの検証、成果の公開を通して、卒業研究を進めることができる。						
授業内容のレベル・関連科目	共通科目全般、ビジネス専攻科目及び「人間文化演習(情報科学分野)」に加えて、本学開講科目のあらゆる科目との関連可能性あり						
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	桑田てるみ「学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版」実教出版						
参考書・その他教材	石井一成「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」ナツメ社						
課題に対するフィードバック	各工程毎に点検し、フィードバックを行う。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	標準的なスケジュールであり、進捗次第で繰り上げ進行する。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

授業スケジュール

卒業研究演習[ビジネス専攻]

1回	学習内容 予習 復習	卒業研究とは — 研究の進め方、研究倫理、スケジュール管理 人間文化演習の成果をまとめておくこと。 一年間の計画を立てること。
2回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(1) 論文作成の基礎、問題抽出、PBL 人間文化演習の成果も含めて、自分の関心・興味のある問題や課題を整理しておくこと。 自分の関心・興味のある問題や課題をまとめること。
3回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(2) アカデミック・ライティング 指定資料を読んでおくこと。 指定練習問題を解くこと。
4回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(3) テーマ方向性選定とリサーチ・クエスションの設定 テーマ(題目)の草案を考えておくこと。 研究目的を明確にすること。
5回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(4) 論文構成考案 指定資料を読んでおくこと。 論文構成からストーリー(論理展開)を構築すること。
6回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(1) 情報検索、文献検索及び文献収集 指定資料を読んでおくこと。 指定数以上の文献を収集・管理し、記録する。
7回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(2) 文献の引用と著作権 指定資料を読んでおくこと。 指定数以上の文献を収集・管理し、記録する。
8回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(3) 先行研究レビュー 収集済み文献を指定数以上読んでおくこと。 先行研究レビューレポートを作成する。
9回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(4) アカデミック・リーディング 指定資料を読んでおくこと。 先行研究レビューレポートを作成する。
10回	学習内容 予習 復習	テーマ確定と論証過程確認 指定資料を読んでおくこと。 テーマと論証過程を明確にすること。
11回	学習内容 予習 復習	研究方法設計、フィージビリティ検証 指定資料を読んでおくこと。 研究方法を明確にすること。
12回	学習内容 予習 復習	オリジナリティ検証 指定資料を読んでおくこと。 オリジナリティを明確にすること。
13回	学習内容 予習 復習	中間報告ディスカッション それまでの研究内容をレポートとしてまとめる。 中間報告をまとめる。
14回	学習内容 予習 復習	中間報告まとめ 中間報告をまとめる。 中間報告発表(プレゼンテーションファイル作成を含む)を作成する。
15回	学習内容 予習 復習	中間報告発表 中間報告発表(プレゼンテーションファイル作成を含む)を完成する。 中間報告発表の振り返り・検証を行う。

授業スケジュール

卒業研究演習[ビジネス専攻]

16回	<p>学習内容 研究方針と論文構成の再確認</p> <p>予習 論文執筆(後期開始時点までに3000字目標)</p> <p>復習 残り期間の計画を立てること。</p>
17回	<p>学習内容 論文作成(1)</p> <p>予習 論文執筆</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
18回	<p>学習内容 論文作成(2)</p> <p>予習 論文執筆</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
19回	<p>学習内容 論文作成(3)</p> <p>予習 論文執筆(6000字目標)</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
20回	<p>学習内容 論文作成(4)</p> <p>予習 論文執筆</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
21回	<p>学習内容 論文作成(5)</p> <p>予習 論文執筆(9000字目標)</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
22回	<p>学習内容 論文作成(6)</p> <p>予習 論文執筆</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
23回	<p>学習内容 論文作成(7)</p> <p>予習 論文執筆(12000字目標)</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
24回	<p>学習内容 論文作成(8)</p> <p>予習 論文執筆</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
25回	<p>学習内容 卒業論文完成、提出準備、形式要件チェック</p> <p>予習 提出ファイルの購入を済ませ、提出票を作成しておく。</p> <p>復習 卒業論文の振り返り・検証を行う。</p>
26回	<p>学習内容 発表方針決定</p> <p>予習 プレゼンテーションに関する指定資料を読んでおく。</p> <p>復習 プレゼンテーションファイルの作成を開始する。</p>
27回	<p>学習内容 発表準備(1)</p> <p>予習 プレゼンテーションに関する指定資料を読み理解、反映する。</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
28回	<p>学習内容 発表準備(2)</p> <p>予習 プレゼンテーションに関する指定資料を読み理解、反映する。</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
29回	<p>学習内容 発表リハーサル</p> <p>予習 発表リハーサルの準備をする。</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p>
30回	<p>学習内容 卒業論文と発表の総合評価</p> <p>予習 発表の準備をする。</p> <p>復習 発表の振り返り・検証を行う。</p>

科目名	卒業研究演習〔ビジネス専攻〕				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	呉 蔭		教員コード	157		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・3時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前年度の人間文化演習を踏まえ、自分が関心を持っているテーマで卒業論文を作成し、発表する。						
授業の狙い・到達目標	卒業研究演習を通じて、履修生自身が関心を持っているテーマに対して、課題の発見、検証(実態調査)、結果の検討・考察というプロセスを踏まえ、自らの考えを論理的に述べることができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	論理的な文章の書き方を習得する。関連科目：人間文化演習に限らない。						
授業外学習(予習・復習)	卒業論文の完成を目指して、毎回の演習での指導内容を踏まえて、内容を着実に更新していく。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	研究テーマによって、自ら参考文献・資料を探す必要がある。						
課題に対するフィードバック	毎回の演習で、研究テーマ、内容、進め方に対して、履修生の自主性を重視しながら、建設的な意見を提示する。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	卒業論文の完成度、卒論発表の状況及び普段の取り組みなどを踏まえ、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	計画通りに主体的に取り組む。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面に対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。						

授業スケジュール 卒業研究演習〔ビジネス専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(スケジュール、達成目標、進め方などを説明する。)、テーマ報告(1名5分) シラバスを事前に確認し、関心のあるテーマを1人当たり5分間で説明できるように準備する。 テーマに対するコメントを確認し、年間計画(どのように進めるか)を立ててみる。
2回	学習内容 予習 復習	関心のあるテーマに関する課題の提示(1)、順番に報告 関心のあるテーマにどのような課題があるか、それについてレジュメを作成する。 指導教員からのコメントを踏まえ、関連情報・知識を取得し、課題検討をさらに深めていく。
3回	学習内容 予習 復習	関心のあるテーマに関する課題の提示(2)、順番に報告 関心のあるテーマにどのような課題があるか、それについてレジュメを作成する。 指導教員からのコメントを踏まえ、関連情報・知識を取得し、課題検討をさらに深めていく。
4回	学習内容 予習 復習	先行研究に関する報告(1) 研究テーマに含まれた課題は先行研究ではどのように述べられたか。調べて報告できるように。 先行研究と指導教員からのコメントを踏まえて、自分の問題意識を醸成する。
5回	学習内容 予習 復習	先行研究に関する報告(2) 研究テーマに含まれた課題は先行研究ではどのように述べられたか。調べて報告できるように。 先行研究と指導教員からのコメントを踏まえて、自分の問題意識を醸成する。
6回	学習内容 予習 復習	研究テーマとその進め方に関する報告(1) 研究テーマをどのように明かにするか、を考えて、報告できるようにレジュメを作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、課題解明の方法を探る。
7回	学習内容 予習 復習	研究テーマとその進め方に関する報告(2) 研究テーマをどのように明かにするか、を考えて、報告できるようにレジュメを作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、課題解明の方法を探る。
8回	学習内容 予習 復習	課題の調べ方に関する報告(1)～研究対象の明確化 自分が提示した課題をどのように明かにするかというシナリオを踏まえ、その調べ方を述べる。 指導教員のコメントと自身の考えを踏まえ、どこで何を調べて、何かを明かにするか、を決める。
9回	学習内容 予習 復習	課題の調べ方に関する報告(2)～研究対象の明確化 自分が提示した課題をどのように明かにするかというシナリオを踏まえ、その調べ方を述べる。 指導教員のコメントと自身の考えを踏まえ、どこで何を調べて、何かを明かにするか、を決める。
10回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査に向けた準備(1) 調べる項目の整理、質問項目の作成などを進めて、報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調べる項目、質問項目などを改善する。
11回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査に向けた準備(2) 調べる項目の整理、質問項目の作成などを進めて、報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調べる項目、質問項目などを改善する。
12回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査の実施計画/結果に関する報告(1) 実施可能性を踏まえ、実施計画を見直す。あるいは実行して、その結果を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調査を実行する。(進捗の個人差を尊重する。)
13回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査の実施計画/結果に関する報告(2) 実施可能性を踏まえ、実施計画を見直す。あるいは実行して、その結果を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調査を実行する。(進捗の個人差を尊重する。)
14回	学習内容 予習 復習	調査結果に関する報告 調査した結果を整理して、報告できるようにレジュメや報告書を作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、その結果に基づいて論文の構成を考えてみる。
15回	学習内容 予習 復習	論文の構成に関する報告 論文の構成を報告できるように、これまでのプロセスを踏まえて内容を整理する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、論文の構成を見直し、本文を書き始める。

授業スケジュール

卒業研究演習[ビジネス専攻]

16回	<p>学習内容 夏休み期間中の進捗の報告(1)(書き終えた部分を提出する。電子版のみ。)</p> <p>予習 夏休み期間中も卒業論文の作成を計画的に進める。補足調査も実施する(指導教員と相談)。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、見直しながら、先に進める。</p>
17回	<p>学習内容 夏休み期間中の進捗の報告(2)(書き終えた部分を提出する。電子版のみ。)</p> <p>予習 夏休み期間中も卒業論文の作成を計画的に進める。補足調査も実施する(指導教員と相談)。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、見直しながら、先に進める。</p>
18回	<p>学習内容 卒業論文の共通問題点に関する説明(参考文献、引用文献、注など)</p> <p>予習 前回のコメントを踏まえ、卒業論文を書き進める。</p> <p>復習 第18回の指導教員からの説明、コメントを踏まえて、卒業論文の要注意箇所を改善していく。</p>
19回	<p>学習内容 論文全体の1/4まで書き進め、その進捗を報告する。</p> <p>予習 論旨が明確かどうか、チェックしながら、論文全体の1/4まで書き進めるように専念する。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。</p>
20回	<p>学習内容 履修生の間で相互チェックを行い、意見を出し合う。</p> <p>予習 論文全体の1/3まで書き進め、履修生の間で相互チェックできるように準備する。</p> <p>復習 履修生からのコメント、指導教員の総合的判断と自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。</p>
21回	<p>学習内容 論文全体の1/2まで書き進め、その進捗を報告する。</p> <p>予習 論文全体の1/2まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。</p>
22回	<p>学習内容 論文全体の2/3まで書き進め、その進捗を報告する。</p> <p>予習 論文全体の2/3まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。</p>
23回	<p>学習内容 論文全体の3/4まで書き進め、その進捗を報告する。</p> <p>予習 論文全体の4/4まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。</p>
24回	<p>学習内容 結論の部分を検討し、論文初稿の完成(12,000字以上)を目指す。</p> <p>予習 結論の部分についてよく検討し、それについて報告できるように準備する。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、結論の部分を修正し、初稿の完成を目指す。</p>
25回	<p>学習内容 論文初稿の修正</p> <p>予習 自分で修正し、修正した部分を報告する。</p> <p>復習 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、論文全体を修正する。</p>
26回	<p>学習内容 卒業論文のミニ発表(1)</p> <p>予習 卒業論文の内容をMicrosoft PowerPointでプレゼンテーションできるように、準備を進める。</p> <p>復習 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。</p>
27回	<p>学習内容 卒業論文のミニ発表(2)</p> <p>予習 プレゼンテーションの内容を改善するように取り組む。</p> <p>復習 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。</p>
28回	<p>学習内容 卒業論文のミニ発表(3)</p> <p>予習 プレゼンテーションの内容をさらに改善するように取り組む。</p> <p>復習 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。</p>
29回	<p>学習内容 卒業論文のミニ発表(4)</p> <p>予習 プレゼンテーションの内容をより明確に分かりやすく表現するように取り組む。</p> <p>復習 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。</p>
30回	<p>学習内容 総合的なコメント、卒業論文本体とプレゼンテーションの内容の最終チェック</p> <p>予習 卒業論文を分かりやすく説明できるように着実に準備を進める。</p> <p>復習 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、論文本体とスライドを修正する。</p>

科目名	卒業研究演習 [ビジネス専攻]				科目コード	31020	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163		単位数	2単位
開講期間	通年		曜日・時限	木曜日・3時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前年度の人間文化演習を踏まえて、自身が関心を持っている社会問題や会社組織問題の分野から、テーマを選んで卒業論文の作成に取り組んで発表する。						
授業の狙い・到達目標	卒業論文の作成を通し、自身が関心を持っているテーマに対して、論理的な考え方ができる。また、その結果を他者に説明できるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	共通科目、ビジネス専攻に關係する科目、人間文化演習など、すべての科目に関連する。						
授業外学習(予習・復習)	参考文献の収集、分析などは事前に行っておくこと。演習では指摘にしたがって内容を修正すること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	文献は、研究テーマに合わせて、自ら検索し収集する。						
課題に対するフィードバック	毎回の演習で、研究テーマ、内容、進め方に対してフィードバックを行う。						
成績評価方法	卒論発表会(30%)、平常点(70%:毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	計画を立て、主体的に取り組むこと。特に、授業外学習を率先して行わなければ論文の完成は難しい。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

授業スケジュール

卒業研究演習 [ビジネス専攻]

1回	学習内容 予習 復習	〈イントロダクション〉 演習の進め方 シラバスを読み、身の回りにおける社会問題や会社組織の問題について考えておく 演習を振り返り、卒業論文作成のための計画を立てる
2回	学習内容 予習 復習	〈テーマの検討①〉 テーマを検討するため、過去の卒論や参考文献検索を行う テーマの方向性を考え、書き出して説明資料にまとめる 演習での指摘事項に基づき説明資料を修正する
3回	学習内容 予習 復習	〈テーマの検討②〉 テーマの方向性を決め、調査や分析方法などを報告する 前回の演習時の課題等について、事前に調査して説明資料にまとめる 演習での指摘事項に基づき説明資料を修正する
4回	学習内容 予習 復習	〈先行研究調査①〉 先行研究に関する報告を行う① 研究テーマに関する課題について、先行研究を調査して説明資料にまとめる 指摘事項などを踏まえて、テーマの課題についてより深く考えて説明資料を修正する
5回	学習内容 予習 復習	〈先行研究調査②〉 先行研究に関する報告を行う② 研究テーマに関する課題について、先行研究を調査して説明資料にまとめる 指摘事項などを踏まえて、テーマの課題についてより深く考えて説明資料を修正する
6回	学習内容 予習 復習	〈研究テーマの決定①〉 研究テーマと論文の構成を決定する① 研究テーマについて説明するための論文構成を説明資料に追加する 指摘事項などを踏まえて、テーマの課題を明らかにする方法を調査する
7回	学習内容 予習 復習	〈研究テーマの決定②〉 研究テーマと論文の構成を決定する② 研究テーマについて説明するための論文構成を説明資料に追加する 指摘事項などを踏まえて、テーマの課題を明らかにする方法を調査する
8回	学習内容 予習 復習	〈論文構成①〉 論文の構成把握 過去の卒業論文等を踏まえて骨子や章立てを理解する 過去の論文構成などを踏まえて、自身の論文構成を修正し、説明資料を修正する
9回	学習内容 予習 復習	〈論文構成②〉 論文構成の決定① 論文の構成を考えて、章立てを作成し、説明資料に追加する 指摘事項などを踏まえて、論文の構成や章立てを修正する
10回	学習内容 予習 復習	〈論文構成③〉 論文構成の決定② 論文の構成を考えて、章立てを作成し、説明資料に追加する 指摘事項などを踏まえて、論文の構成や章立てを修正する
11回	学習内容 予習 復習	〈第1章作成①〉 イントロダクション、第1章の作成① イントロダクション、第1章を作成する 指摘事項などを踏まえて、論文を修正する
12回	学習内容 予習 復習	〈第1章作成②〉 イントロダクション、第1章の作成② イントロダクション、第1章を作成する 指摘事項などを踏まえて、論文を修正する
13回	学習内容 予習 復習	〈第2章作成①〉 第2章の作成① 第2章を作成する 指摘事項などを踏まえて、論文を修正する
14回	学習内容 予習 復習	〈第2章作成②〉 第2章の作成② 第2章を作成する 指摘事項などを踏まえて、論文を修正する
15回	学習内容 予習 復習	〈第3章作成①〉 第3章および結論の作成① 第3章および結論を作成する 指摘事項などを踏まえて、論文を修正する

授業スケジュール

卒業研究演習[ビジネス専攻]

16 回	<p>学習内容 <第3章作成②> 第3章および結論の作成②</p> <p>予習 第3章および結論を作成する</p> <p>復習 指摘事項などを踏まえて、論文を修正する</p>
17 回	<p>学習内容 <合成①> 論文の合成①</p> <p>予習 イントロダクションから結論までを合成し、全体の修正を行う</p> <p>復習 指摘事項などを踏まえて、論文全体を修正する</p>
18 回	<p>学習内容 <合成②> 論文の合成②</p> <p>予習 イントロダクションから結論までを合成し、全体の修正を行う</p> <p>復習 指摘事項などを踏まえて、論文全体を修正する</p>
19 回	<p>学習内容 <論文のレビュー①> 論文の進捗とその内容をレビューする(全体の約1/4、3,000字程度の確保)</p> <p>予習 全体の約1/4、3000字を目標に書き加える</p> <p>復習 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正・加筆する</p>
20 回	<p>学習内容 <論文のレビュー②> 履修生間の相互チェックと指摘</p> <p>予習 前回の指摘から修正、加筆をする</p> <p>復習 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正・加筆する</p>
21 回	<p>学習内容 <論文のレビュー③> 論文の進捗とその内容をレビューする(全体の約1/2、6,000字程度の確保)</p> <p>予習 全体の約1/2、6000字を目標に書き加える</p> <p>復習 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正・加筆する</p>
22 回	<p>学習内容 <論文のレビュー④> 論文の進捗とその内容をレビューする(全体の約3/4、9,000字程度の確保)</p> <p>予習 全体の約3/4、9000字を目標に書き加える</p> <p>復習 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正・加筆する</p>
23 回	<p>学習内容 <論文のレビュー⑤> 論文の進捗とその内容をレビューする(初稿完成、12,000字程度の確保)</p> <p>予習 結論部分についてよく考えて初稿を完成させる</p> <p>復習 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正・加筆する</p>
24 回	<p>学習内容 <論文の修正①> 論文を修正する①</p> <p>予習 修正した部分についてまとめておく</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、修正する</p>
25 回	<p>学習内容 <論文の修正②> 論文を修正する②</p> <p>予習 修正した部分についてまとめておく</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、修正する</p>
26 回	<p>学習内容 <発表練習①> 卒業論文発表①</p> <p>予習 卒業論文の内容をPowerPointにて説明できるよう準備する</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、PowerPoint資料を修正する</p>
27 回	<p>学習内容 <発表練習②> 卒業論文発表②</p> <p>予習 卒業論文の内容をPowerPointにて説明できるよう準備する</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、PowerPoint資料を修正する</p>
28 回	<p>学習内容 <発表練習③> 卒業論文発表③</p> <p>予習 卒業論文の内容をPowerPointにて説明できるよう準備する</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、PowerPoint資料を修正する</p>
29 回	<p>学習内容 <発表練習④> 卒業論文発表④</p> <p>予習 卒業論文の内容をPowerPointにて説明できるよう準備する</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、PowerPoint資料を修正する</p>
30 回	<p>学習内容 <最終チェック> 卒業論文とプレゼンテーション資料の最終チェック</p> <p>予習 卒業論文の説明に向け、準備する</p> <p>復習 演習内でのフィードバックを基に、卒業論文やPowerPointを修正する</p>

科目名	卒業研究演習〔人間文化分野〕			科目コード	31021
英文名	Graduation Research Seminar II [Linguistics and Cultural Anthropology]			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)
担当教員	部田 和美	教員コード	153	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	水曜日・2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	卒業論文と卒業論文発表・資料の作成				
授業の狙い・到達目標	卒業論文作成の過程を通して、論理的な思考の展開ができるようにすること、それを文章にまとめる能力を身に付けることができる。				
授業内容のレベル・関連科目	関連科目：人間文化演習(日本理解)				
授業外学習(予習・復習)	毎回教員が与える課題を期限までに行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	特になし				
参考書・その他教材	各々のテーマに合わせた文献を指定する。				
課題に対するフィードバック	毎回内容に問題点がないか確認する。				
成績評価方法	卒論発表会30%(論文に沿った分かりやすい発表ができたか)、平常点70%(毎回の課題を期限内にきちんとこなしてきたか)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	文献の精読や言語現象(用例)の収集などは短時間ではできないので、教員の指示に従い、週単位で定めた範囲を着実にこなすこと。				
科目に関連した教員の業務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	torita@aikoku-u.org				

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 卒業論文について 卒業生の卒業論文を見ておく 教員が提示した課題を行う
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 予習 復習	テーマの決定 関心のあるテーマについて具体的にまとめる・必要な文献を探し読む 教員が提示した課題を行う
5 ・ 6 ・ 7 回	学習内容 予習 復習	論文の骨子、構成を決める 指定された文献を読む 教員が提示した課題を行う
8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 回	学習内容 予習 復習	論文作成(1～2章)先行研究まで 指定された文献を読む・資料収集 教員が提示した課題を行う
13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 予習 復習	論文作成(3～4章)調査観察・分析・考察 資料をまとめる 教員が提示した課題を行う

授業スケジュール

卒業研究演習[人間文化分野]

16 ・ 17 ・ 18 ・ 19 回	<p>学習内容 論文作成(3~4章)調査観察・分析・考察</p> <p>予習 資料をまとめる</p> <p>復習 教員が提示した課題を行う</p>
20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回	<p>学習内容 論文作成(5~6章)まとめと課題</p> <p>予習 分析結果を確認しながらまとめる</p> <p>復習 教員が提示した課題を行う</p>
24 ・ 25 ・ 26 回	<p>学習内容 仕上げ、提出</p> <p>予習 全体を見直し、表紙、目次などを作成する</p> <p>復習 指示に従って手直しをする</p>
27 ・ 28 回	<p>学習内容 要旨作成</p> <p>予習 要旨を作成する</p> <p>復習 指示に従って要旨の手直しをする</p>
29 ・ 30 回	<p>学習内容 卒業論文の手直し</p> <p>予習 再読し間違いがないか確認する</p> <p>復習 教員が提示した課題を行う</p>